まちあるきの注意点

※個人住宅や敷地には立ち入らないでください。

は、石碑を表します。

は、歴史の説明などが記されている標柱や説明板を表します。

は、石柱を表します。

は、保存樹や大きな木を表します。

は、ワークショップに参加した学生さんのおすすめスポットです。

❖参考文献

秋田の今と昔
新秋田叢書（八）
秋田市の木と森
続・秋田市の木と森
秋田大百科事典
図説　久保田城下町の歴史
秋田市大事典
三百藩家臣人名辞典　第一巻
秋田市の庚申信仰
佐竹家譜　上
秋田市旭川郷土史
秋田県神社名鑑
秋田市における地名の分類（下）
秋田・天徳寺史秋田のお寺　心のふる里
秋田市の史跡めぐり
秋田市の文化財
秋田市史　第六巻　考古資料編
秋田市外旭川郷土史　ー語りつぐ外旭川のあゆみー
ふるさと秋田市
名勝旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯庭）庭園保存管理計画書
近代化遺産　国有林森林鉄道全データ（東北編）
旭川歷史散歩

文化財イラストマップ　秋田市泉（五庵山）・手形地区編

あきたのまち再発見 ぐるっと文化財マップ

見て楽しい、歩いて楽しい

五庵山の歴史と地名の由来

五庵山は古くから信仰の聖域で、多くの庵（いおり）（寺坊）が営まれたことから、「五庵山」の地名が生まれたと言われています。

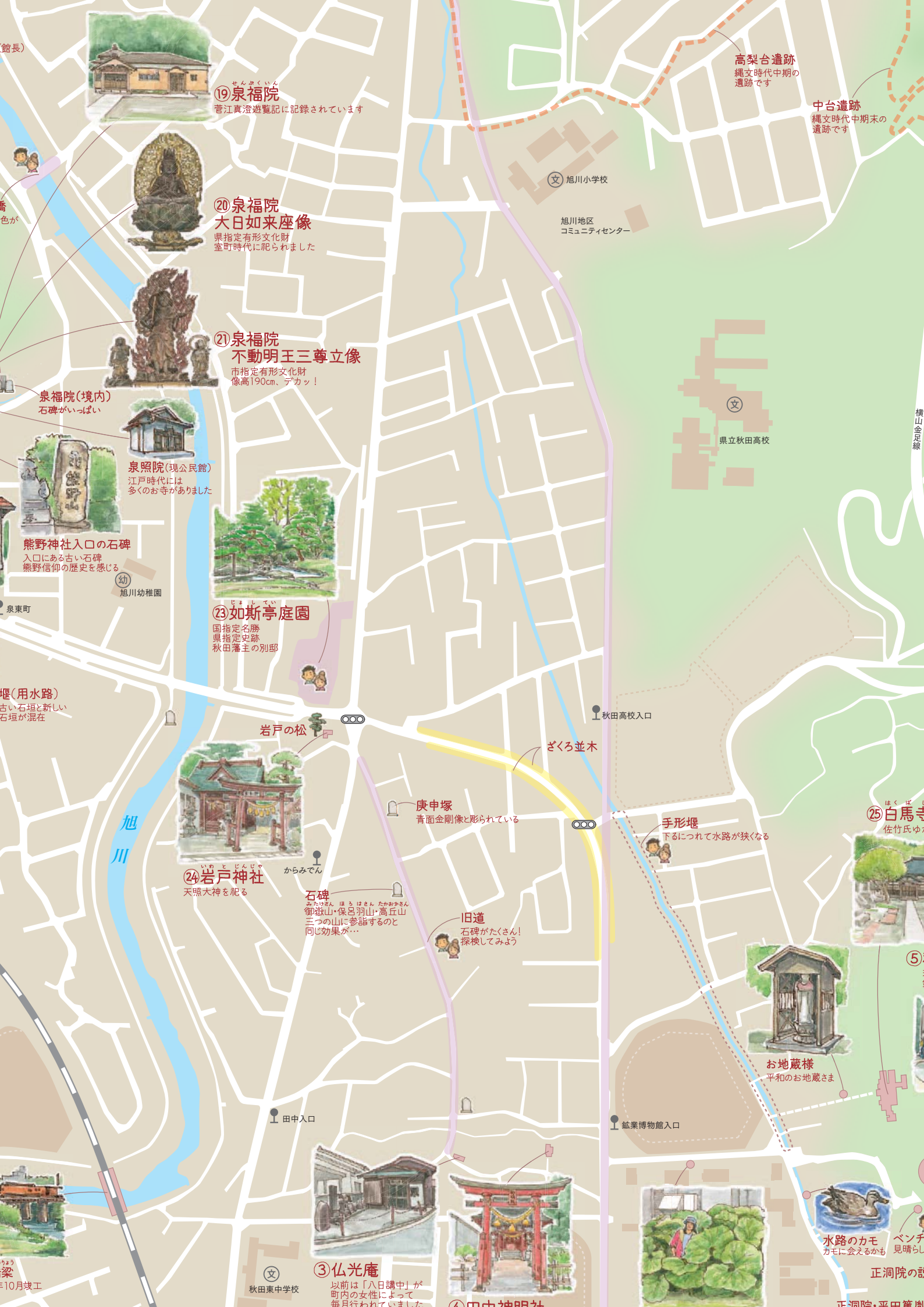
また、熊野山・高野山信仰により、御嶽精進（修行）が盛んであったことから、三嶽根の地名も生まれました。

泉について

泉は「湧き水」のことで、五庵山と前面の平地とが交わる辺りから、湧き水が見られたと言われています。

農村地帯が広がっていた泉地区は、上流からいかだで流されてくる木材や薪炭などを役人が検収する重要な関所でした。泉で検収を終えた木材は、旭川と雄物川の合流点にある川口の材木置場まで運ばれました。

⑰中山菁莪の墓
藩校明徳館の初代祭酒（館長）
平和公園
土崎まで見えるかも
⑭天徳寺
重要文化財
佐竹氏の菩提寺
小野岡義般の奥墓地
佐竹義厚や義睦の
お相手番を勤めました
酒入山門
んもんいりをゆるさず）
津を表しています
三嶽根遺跡
縄文・平安・中世の遺跡です
⑱熊野神社
札打ちはここからスタート
新藤田橋
山と川の景色が
good
不明な石碑
大きいが摩滅して
判読不明
⑲泉福院
菅江真澄遊覧記に記録されています
⑳泉福院
大日如来座像
県指定有形文化財
室町時代に祀られました
㉑泉福院
不動明王三尊立像
市指定有形文化財
像高190cm、デカッ！
石碑
泉の大もみ
泉福院（境内）
石碑がいっぱい
泉照院（現公民館）
江戸時代には
多くのお寺がありました
三嶽根
大切にされているお地蔵様
仲良さそう
泉堰
マキガイが多いので
ホタルいるかも
馬頭観世音
馬の守護神として
広く信仰されています
熊野神社入口の石碑
入口にある古い石碑
熊野信仰の歴史を感じる
旭川幼稚園
泉東町
㉓如斯亭庭園
国指定名勝
県指定史跡
秋田藩主の別邸
境界石
JRになる前からあり
なつかしい
旭川小学校発祥の地
前身である北泉学校跡地に、
創立130周年記念に建立
庚申塔
たくさん並んでいます
堰（用水路）
古い石垣と新しい
石垣が混在
岩戸の松
庚申塔
半分埋まっています
庚申塚
青面金剛像と彫ら
旭川
㉔岩戸神社
天照大神を祀る
からみでん
石碑
御嶽山・保呂羽山・高丘山
三つの山に参詣するのと
同じ効果が…
旧道
石碑が
探検し
庚申塚
厚いです
秋田工業高校
記念の碑
秋田市と金砂郷村（現在常陸太田市
金砂郷地区）をつなぐ碑です
金砂神社
佐竹氏と一緒に常陸から
移ってきました
あきこうまえ茶屋跡
かつては高校生御用達の
名物食堂でした
田中入口
金砂神社のけやき
階段
川べりで一休み
戸野八丁
町町内会館
の保戸野小学校の
材を利用して建てました
旭川橋梁
明治35年10月竣工
秋田東中学校
③仏光庵
以前は「八日講中」が
町内の女性によって
毎月行われていました


(館長)
⑲泉福院
菅江真澄遊覧記に記録されています
⑳泉福院
大日如来座像
県指定有形文化財
室町時代に祀られました
㉑泉福院
不動明王三尊立像
市指定有形文化財
像高190cm、デカッ！
泉福院(境内)
石碑がいっぱい
泉照院(現公民館)
江戸時代には
多くのお寺がありました
熊野神社入口の石碑
入口にある古い石碑
熊野信仰の歴史を感じる
旭川幼稚園
泉東町
㉓如斯亭庭園
国指定名勝
県指定史跡
秋田藩主の別邸
堰(用水路)
古い石垣と新しい
石垣が混在
岩戸の松
旭川
㉔岩戸神社
天照大神を祀る
からみでん
石碑
御嶽山・保呂羽山・高丘山
三つの山に参詣するのと
同じ効果が…
庚申塚
青面金剛像と彫られている
ざくろ並木
秋田高校入口
手形堰
下るにつれて水路が狭くなる
旧道
石碑がたくさん！
探検してみよう
田中入口
鉱業博物館入口
お地蔵様
平和のお地蔵さま
高梨台遺跡
縄文時代中期の
遺跡です
中台遺跡
縄文時代中期末の
遺跡です
旭川小学校
旭川地区
コミュニティセンター
県立秋田高校
横山金足線
㉕白馬寺
佐竹氏ゆか
⑤
水路のカモ
カモに会えるかも
ベンチ
見晴らし
正洞院の
正洞院・平田篤胤
梁
年10月竣工
秋田東中学校
③仏光庵
以前は「八日講中」が
町内の女性によって
毎月行われていました
④田中神明社

手形地区の歴史と地名の由来について

手形の「形」は、「潟」を意味していたと言われています。赤沼・長沼・谷地・深田などの字名が、旧旭川の自然堤防の辺りにみられることから、湿地か沼地から得た地名と考えられます。

初代藩主佐竹義宣は、家老たちに命じて手形村に町割を実施し、侍町としました。

手形からみでんについて

町名は搦田（からみでんむら）村からきています。由来は搦田の方角が久保田城の搦手（裏手）に位置することからと言われています。

このマップは、市民がまち歩きをして作成しました！

市民のみなさんに地域の文化財・文化施設をもっと身近に感じてもらいたいと、文化財イラストマップを作成しました。

マップ作成のためのワークショップでは、18人の市民のみなさんが実際にまちを歩いて情報を集めました。このマップには、ワークショップ参加者が注目したものやコメントなどを盛り込んであります。

このマップを持ってまちを歩き、地域の文化財・文化施設を楽しんでください。

秋田大学国際資源学部附属鉱業博物館…… ☎018-889-2461
◇秋田市手形字大沢28-2

秋田市観光案内所（秋田駅構内） …… ☎018-832-7941
（財）秋田観光コンベンション協会 …… ☎018-824-8686

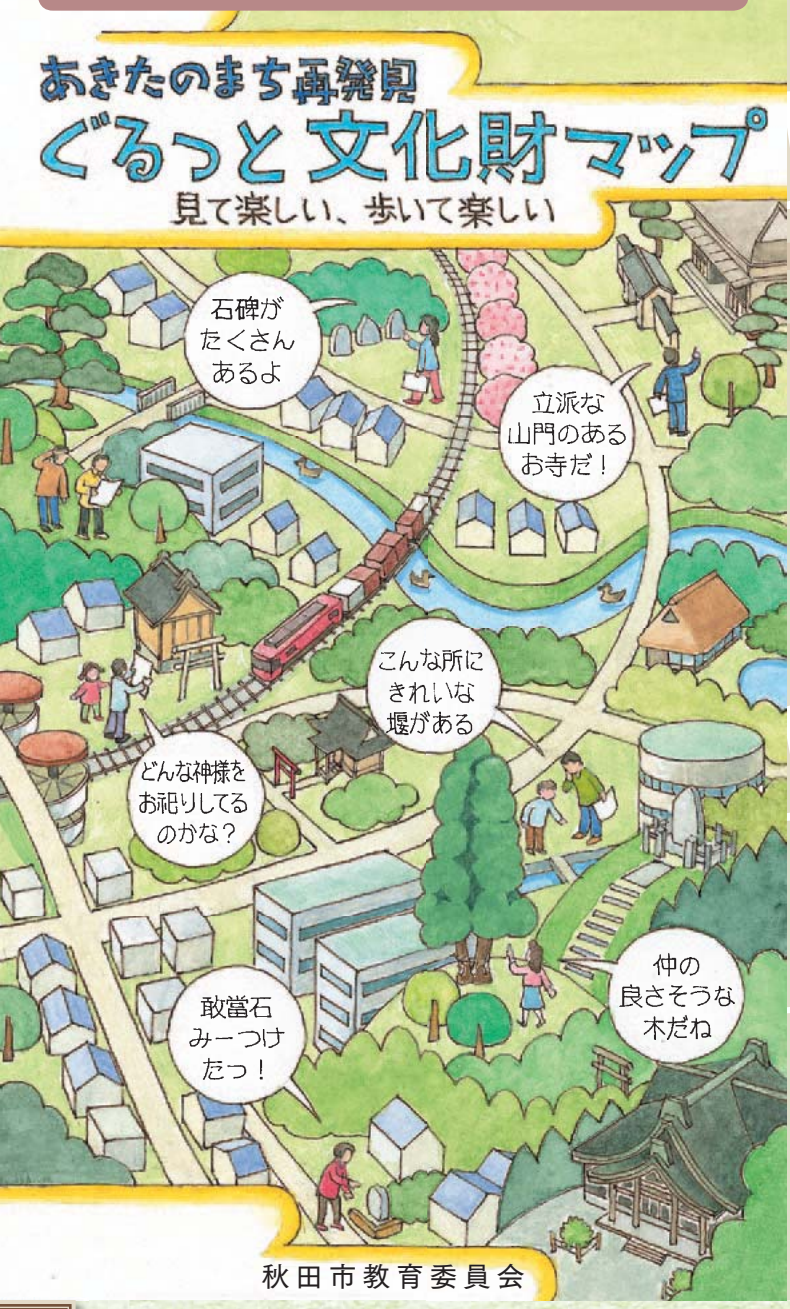
編集・発行：秋田市教育委員会　文化振興室
秋田市山王二丁目1番53号　山王21ビル4階
電話番号 018-866-2246　FAX番号 018-866-2252

協　　力：半田和彦（市文化財保護審議会副委員長）
岸　茂男（久保田城址歴史案内ボランティアの会）
学生団体ATMU!

印　　刷：秋田活版印刷株式会社
イ ラ ス ト：小西　由紀子
発　行　日：平成27年3月

秋田市外旭川郷土史　ー語りつぐ外旭川のあゆみー
ふるさと秋田市
名勝旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯庭）庭園保存管理計画書
近代化遺産　国有林森林鉄道全データ（東北編）
旭川歴史散歩

文化財イラストマップ　秋田市泉（五庵山）・手形地区編



泉は「湧き水」のことで、五庵山と前面の平地とが交わる辺りから、湧き水が見られたと言われています。

農村地帯が広がっていた泉地区は、上流からいかだで流されてくる木材や薪炭などを役人が検収する重要な関所でした。泉で検収を終えた木材は、旭川と雄物川の合流点にある川口の材木置場まで運ばれました。

保戸野八丁について

隣接する旧泉村の小字で、天徳寺街道の八丁から命名されました。天徳寺から八町（約872m）離れている、という意味です。

江戸のおもかげあれこれ

三吉梵天祭（けんか梵天）

毎年1月17日、五穀豊穣や家内安全などを祈念し、力の神にあやかろうと勇壮に先陣を争いながら、梵天と呼ばれる依代（よりしろ）を奉納します。

泉堰

旭川の上流から分水し、泉・保戸野を経て川尻で太平川に流れる灌漑（かんがい）用水路。初代藩主佐竹義宣が改修を命じており、当時から存在していたことを窺い知ることができます。

手形休下町について

休下町の北端旭川の岸に藩主のお休み処と、その下に御休橋がありました。御休下町の名は、この御休に由来しています。

飲山亭

秋田藩主佐竹氏の雪見御殿跡。名前の由来は、酒盃に写った太平山の姿を飲み干すことからと言われています。

庚申講

庚申日には、寝ている間に体内にいる三尸（道教で、人の体内に住んでいるという3匹の虫）が天に昇り、天帝に人間の悪行を告げ、早死にさせられるといいます。それを防ぐために、寝ずに集まって勤行と会食を行います。

庚申講

庚申日には、寝ている間に体内にいる三尸（道教で、人の体内に住んでいるという3匹の虫）が天に昇り、天帝に人間の悪行を告げ、早死にさせられるといいます。それを防ぐために、寝ずに集まって勤行と会食を行います。

太平山講

太平山を信仰し、登山を信仰上の行事としていることから、年に一度は太平山に登りました。石塔を建立したり、祠を祀るなどしました。

電話番号 018-836-2240　FAX番号 018-836-2262

協　　力：半田和彦（市文化財保護審議会副委員長）
岸　茂男（久保田城址歴史案内ボランティアの会）
学生団体ATMU!

印　　刷：秋田活版印刷株式会社
イ ラ ス ト：小西　由紀子
発　行　日：平成27年3月

赤沼について

赤沼は、現在の秋田駅付近の長沼や手形（手潟）とともに沼沢地でしたが、江戸初期の正保元年（1644）から一帯は埋め立てられました。そして、沼が完全に姿を消したのは幕末の安政の頃でした。

久保田三十三番観音霊場（札打ち）

毎年1月15日の夜から16日にかけて、3年以内に亡くなった近親者の戒名を木札に墨書し、観音霊場を1～33番までを巡回します。1番札所…熊野神社、2番札所…閼信寺、3番札所…本念寺の順に札打ちをします。

平田篤胤墓前祭

毎年8月24日には、彌高神社関係者や地元住民などによって墓前生誕祭が行われています。